

～下田のデキゴト～



3/6 ごみの減量化・リサイクル

南伊豆地域のごみ減量化・リサイクルを考えるワークショップが開催され、各団体の代表から高校生まで幅広い世代の参加者が、持続可能なごみ処理体制を継続していくために活発な意見交換を行いました。



3/11 下田・河津間駅伝 特別表彰式

下田・河津間駅伝競走大会も今年で50回を迎え、大会自体は中止となりましたが、これまで大会運営にご尽力いただいた役員の皆さまと連続出場チームに感謝の意を表し、特別表彰を行いました。



3/11 青少年健全育成合同研修会

青少年健全育成連絡協議会と家庭教育学級の合同研修会を行い、講師に地域づくりアドバイザーである小田圭介さんを招き、地域づくりにおける青少年健全育成との関わりについて学ぶ研修となりました。



3/12 体を使った遊び教室

お父さんと一緒に子育て講座で体を使った遊び教室を開催しました。うつぶせのお父さんをひっくり返したり、合図に合わせてタオルを取り合ったりして、親子で体を動かして遊ぶ楽しさを学びました。



3/19.20 下田市長杯兼しずぎんカップ

市営総合グラウンドにおいて、学童野球「下田市長杯兼しずぎんカップ」が開かれました。6チームが参加し「河津ジャガーズ」が優勝、市内のチームでは「下田かすが」が第3位に輝きました。



3/23 思い出の中学校 歴史に幕

市内4中学校で閉校式が行われ、多くの卒業生や地域の方々も一般公開には訪れました。写真の稲樟中学校では、地域に中学校は無くなってしまいが地域とのつながりはこれからも大事にしたいと挨拶しました。

3月のできごと	3日 市議会3月定例会議	17日 下田認定こども園幼稚園部・下田幼稚園卒園式
	13日 子育てサポーター養成講座 幼児安全法講習	18日 市内小・中学校卒業式
	連続歴史講座「南豆の歴史を後世に」	23日 市内4中学校閉校式
	16日 水産海洋学講座	25日 下田認定こども園保育部・下田保育所卒園式

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



5月の予定

- 13日(金) ふれあい遊び 午後閉館(清掃・消毒)
 - 16日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所: 市民スポーツセンター(サンワーク)
 - 20日(金) 誕生会 10時30分～
 - 23日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
 - 27日(金) おでかけ広場
まどが浜海遊公園(雨天中止)
※午後閉館(清掃・消毒)
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は支援センターまでお問い合わせください。

やわらかな日差しと暖かな風につつまれて新年度がスタートしました。
支援センターの花壇の花々も色とりどりに咲き誇っています。
子育て支援センターは、親子で自由に交流できる場や、子育てに関する相談、情報の提供などを行っています。今年度もたくさんのお友達との出会いを楽しみにしています。
お子様の健やかな成長を保護者の皆さまとともに願い、支えあいながら活動を進めていきたいと思っております。皆様のご利用をお待ちしております。



体育館で遊ぼう



うさぎルーム



おひなさま製作



誕生会

こんにちは、市長です

「正しい」を考える

「もしかしたら私は間違っているかもしれない」
座右の銘とまでは言わないまでも、このことを常に自身に問いかけるよう私は心がけています。
自分は正しいんだ。そう考えてしまうと、それとは異なる考えの人(その人も自分は正しいと思っているとなおさら)と衝突してしまい、争いが起こり、場合によっては戦争になってしまいます。
つまり、自分が正しい、という思い込みは多くの危険性をはらんでいるように思います。
テレビやインターネットなどで毎日のように、タレントや有名人、コメンテーターという人たちがだれか個人を、あるいは企業、団体、政治家、役所などを批判していて、私たちは知らぬ間にそうした「批判的なもの」の見方が正当であるように刷り込まれてしまう。そして、何かの時につい私たちが他者を非難するという行動に出てしまう。他者への批判はとても熾惑的である。

「もしかしらば、市長です」
そうすることで自分が優位な位置に立つように錯覚する。こうした経験は私自身もありません。
SNSと呼ばれる、インターネット上の仮想空間では危険性はさらに高まります。匿名のままナイフのような言葉が連鎖的に広がり、どんどん肥大化していき、場合によっては、少女を自殺に追い込むこともありま。

では、どうしたらこのような悲劇を避けられるのか。そこで力を発揮するのが、皆さん一人ひとりの優しさや、許し等ではないだろうかと思っております。私たち大人は知っています。社会というのは、多種多様な要素が複雑に絡み合っていて、なかには、相互に矛盾する概念をも並立させたまま受け入れることも大事だ、ということ。ですから、健全な批判精神を持ちつつも、他者への敬意を忘れないこと。それが、コロナで分断されがちな社会においてとても大事なように思います。

